

「文京遺跡の解明Ⅶ 弥生時代の布―土器に残された痕跡から探る―」

公開講座アンケート

問1 「講義時間についてどう思われますか？」

- ・ふつう。
- ・特に問題なし
- ・少し長いでしょうか？
- ・3時間でもあっという間です。ちょうどいい時間だと思います。
- ・間で1回休みが欲しい。勝手に休んでくる？
- ・たっぷりあってうれしいです

回答：休憩時間が少なく失礼しました。

問2 「講義の内容で印象に残ったものがあればお書きください。」

- ・土器の布圧痕に着目した研究すばらしいです。今後のひろがり期待しています。
- ・撚糸と布繊維密度→布の用途に思いを巡らせます。時代(中国・韓国)並行で関連する遺物や文献まで参考呈示いただくと弥生文化史観がしっくりきます。
- ・糸を撚る作業は、むつかしい。でも楽しい。
- ・走査型電子顕微鏡によって作業の手の動きまで分かるというのがとても驚きでした。おもしろかったです。今も古代と同じ、織物の方法を海外でもしているようで、各地にあったのか渡来して来た人がもたらしたのか…
- ・撚りを見るには、じっくり見ないと分からない点。

問3 「公開講座の実施形態についてご意見、ご感想がありましたらお書きください。」

- ・多面的な見方から、古代史が少しずつ明らかになる姿、着目したいです。現物(現場)及びくるま座での対面講義が良いです。
- ・とてもフランクで、質疑もやり易く楽しい雰囲気でした。
- ・エントランス教室で楽しいです。
- ・場所を移動してちがう形態でできてよく分かりました。
- ・講義、展示説明、実践、いろいろな形態で楽しかったです。

回答：今後の公開講座でも、実物を見たり、触ったりできる機会を設けたいと思います。

問4 「今後、公開講座が実施されるとすると、どのような内容の講座を希望しますか？ご希望のテーマや時代などがあればお書き下さい。」

- ・青銅器の組成比や朱・ベンガラに関心があり、全国を巡っています。今回の糸、布も大いに関心をもっています。炭化した布でも出ると面白いですね。

回答：来年度もご意見を参考に公開講座を企画したいと思います。